

2010年7月8日

## GEヘルスケア、重さ 390 グラムの超音波診断装置発売

米ゼネラル・エレクトリック(GE)の医療事業部門の日本法人、GEヘルスケア・ジャパンは小型の超音波診断装置「ヴィースキャン」を発売する。同社の最小の超音波診断装置に比べて価格は10分の1以下。重さは同88%減の390グラムで白衣のポケットに入るほど小型・軽量化。病院内外の様々な場所に持ち運び、簡単な操作で高度な診断ができる。

ヴィースキャンの大きさは幅73ミリメートル、奥行き28ミリメートル、高さ135ミリメートル。プローブやバッテリーを含めた重さは390グラム。大幅に小型化しながらも独自の画像処理技術を搭載し、3.5インチの画面に高画質な診断画像を表示できる。血流をリアルタイムで観察することなども可能。片手で操作ボタンを扱える操作性の良さも特徴だ。

＝日経産業新聞＝